

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2012年6月21日～27日)

平成 24 年(2012 年)6 月 29 日

| H | E | A | D | L | I | N | E | S |
|--|---|---|---|---|---|---|---|--|
| <p>政治</p> <p>与党「市民プラットフォーム」の支持率上昇 ドミニク財務次官がユーロ担当政府代表に就任 野党「法と正義」、若者雇用促進プログラムを発表 プロタシエヴィチ欧州議員、EU議会PO - PSL議員クラブ会長に選出 最も信頼される政治家にコモロフスキ大統領 ガゼタ・ヴィボルチャ紙ベラルーシ特派員が逮捕される カリーニングラードとの国境小規模移動協定の批准が完了 パレスチナのポーランド名誉領事館開館 シコルスキ外相がレバノン及びイラク訪問 ポーランド・カザフスタン外相会談 ヴィシェグラード・グループ(V4)首相会合 ポーランド・露政務協議 クファシニエフスキ元大統領がティモシェンコ元ウクライナ首相を慰問 ボルセヴィチ上院議長がグルジアを訪問 エジプト大統領選挙に関するポーランド外務省声明 スクシプチャク大将が国防次官に就任 第12回バルト軍事装備品展示会「Balt - Military - Expo」開催</p> | | | | | | | | <p>【お問い合わせ先】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出してください。大規模な事故災害等が発生した場合、所在確認、救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p> |
| <p>経済</p> <p>ポーランドが将来欧州で2番目に魅力的な投資先となる見込み 欧州自動車産業の減速がポーランド経済に影響 ロストフスキ財務相が銀行同盟に関するポーランドの立場に言及 欧州原子核研究機構の外部監査機関としてポーランド議会監査庁を認定 コジェニツェ火力発電所の入札結果不服申し立ての状況 ガスの卸売市場が2012年第4四半期に創設される予定 日本板硝子グループがポーランドにサービス・センターを開設予定 5月の失業率が12.6%に減少 5月の小売販売が好調 地方自治体の公共投資が削減される見込み 養鶏農家がEU指令に基づく新養鶏ケージを導入 世界銀行が2012年GDP成長率を2.9%と予測</p> | | | | | | | | |
| <p>社会</p> <p>サッカー欧州選手権中の観光客数が予想よりも低調</p> | | | | | | | | |
| <p>大使館からのお知らせ</p> <p>ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p> | | | | | | | | |
| 在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.jhtm | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 政 | 治 |
| 内 | 政 |

与党「市民プラットフォーム」の支持率上昇【22日】

22日、世論調査機関CBOS社による政党世論調査によれば、与党「市民プラットフォーム」(PO)の支持率が32%(前回比で5%増)となり、野党「法と正義」(PiS)の20%(同1%減)を大きく引き離れた。その他、民主左翼連合(SLD)が9%(同3%減)、農民党(PSL)が6%(同1%減)、「パリコト運動」が3%(同4%減)の支持率を得た。

ドミニク財務次官がユーロ担当政府代表に就任【25日】

25日、財務省は、ユーロ担当政府代表にドミニク財務次官が就任したと発表。

野党「法と正義」、若者雇用促進プログラムを発表【26日】

26日、最大野党「法と正義」(PiS)は、若者の雇用を促進するための「国家雇用プログラム」を議会に提出。PiSは、同プログラムを実施することにより130万人の雇用を創出できると主張。

プロタシエヴィチ欧州議員、EU議会PO - PSL議員クラブ会長に選出【26日】

26日、与党「市民プラットフォーム」(PO)に所属するプロタシエヴィチ欧州議員が、PO及び農民党(PSL)議員クラブの会長に選出された。両党は欧州人民党(EPP)に属する。

最も信頼される政治家にコモロフスキ大統領【27日】

世論調査機関CBOS社の世論調査によれば、ポーランドの政治家の中で、コモロフスキ大統領を68%が信用すると回答。続いてシコルスキ外相(49%)、カリシュSLD議員(47%)、パウラク副首相(45%)、トゥスク首相(42%)、ミレルSLD党首(38%)、ムハ・スポーツ観光相(37%)であった。一方、最も信頼できない政治家として、パリコト党首(55%)、カチンスキPiS党首(49%)、トゥスク首相(39%)、コパチ下院議長(38%)、ジョブロ欧州議員(36%)との結果となった。

| | |
|---|---|
| 外 | 交 |
|---|---|

ガゼタ・ヴィボルチャ紙ベラルーシ特派員が逮捕される【21日】

21日、ポチョプト・ガゼタ・ヴィボルチャ紙ベラルーシ特派員がルカシェンコ大統領を侮辱したとして、ベラルーシ当局に逮捕された。

カーニングラードとの国境小規模移動協定の批准が完了【21日】

21日、コモロフスキ大統領は、カーニングラードとの国境小規模移動協定を批准。露大統領も既に同協定を批准している。

パレスチナのポーランド名誉領事館開館【21日】

21日、パレスチナのベツレヘムに初のポーランド名誉領事館が開館。

シコルスキ外相がレバノン及びイラク訪問【21～24日】

21～24日、シコルスキ外相はスウェーデン及びブルガリアの外相と共に、レバノン及びイラクを訪問。シリア情勢、EUとの関係について協議した。

ポーランド・カザフスタン外相会談【22日】

22日、ポーランド・カザフスタン外相会談がワルシャワで行われ、両国大統領の訪問等について協議。

ヴィシェグラード・グループ(V4)首相会合【22日】

22日、トゥスク首相は、プラハでのV4会合に出席。経済成長、6月欧州理事会への対応等について協議。

ポーランド・露政務協議【22日】

22日、ナウエンチ外務次官とティトフ露外務次官との間で政務協議が開催され、カーニングラードとの国境小規模移動協定、ポーランド・露対話と理解センターの活動、墜落した政府専用機の機体返還問題等について協議。

クファシニエフスキ元大統領がティモシェンコ元ウクライナ首相を慰問【24日】

24日、クファシニエフスキ元大統領は、コックス元欧州議会議長と共に、入院中のティモシェンコ元ウクライナ首相を慰問した。

ボルセヴィチ上院議長がグルジアを訪問【25日】

25日、ボルセヴィチ上院議長がグルジアを訪問。サーカシュヴィリ大統領と会談し、今秋の議会選挙、来年の大統領選挙の見通し等グルジア情勢について意見交換した。

エジプト大統領選挙に関するポーランド外務省声明【25日】

25日、ポーランド外務省は、平和的に実施された24日のエジプト大統領選挙の結果を歓迎するとともに、ポーランドの過去の民主化の経験をエジプトと共有する意図を表明する声明を発表。

スクシブチャク大将が国防次官に就任【25日】

25日、国防相アドバイザーのスクシブチャク大将(GEN. Waldemar Skrzypczak)が国防次官(装備・近代化担当)に就任。装備政策局、軍標準化センター等を監督する。同大将は元陸軍司令官で、2009年、アフガニスタン派遣部隊用装備品の調達に関し当時の国防省を非難したことが原因で辞職し

たが、昨年からシェモニャク国防相のアドバイザーに復帰していた。

第12回バルト軍事装備品展示会「Balt - Military - Expo」開催【27～29日】

27～29日、グディニアにて第12回バルト軍事装備品展示会「Balt - Military - Expo」が開催された(隔年開催)。ポーランド海軍が導入を予定する新型潜水艦の受注(契約額約75億ズロチを想定)をめぐり、独・TKMSグループのタイプ212及び214潜水艦と競合する仏・DCNSグループのスコルペヌ(Scorpene)型潜水艦が注目されている。

経 済

ポーランドが将来欧州で2番目に魅力的な投資先となる見込み【21日】

Ernst & Young社の報告書によれば、ポーランドは今後3年のうちに、英国、フランス、ロシアを抜いて、ドイツに次ぐ欧州で2番目(現在8番目)に魅力的な投資先となる見込みである。同社は、ポーランドの主要な優位点として経済危機に対する耐性をあげており、ポーランドが2009年に景気後退を免れた唯一のEU加盟国で、欧州大陸で最も速い成長を遂げている国の一つであることが、他の中東欧諸国から差別化される要因であると指摘している。その他、労働者の質や生産性の高さが評価されている。

欧州自動車産業の減速がポーランド経済に影響【21日】

欧州自動車産業の減速が、ポーランド経済に深刻な影響を及ぼしている。Automotivesuppliers.plのデータによれば、3月のポーランドの自動車部品・エンジンの輸出は、前年同月比10%減の16.6億ユーロであった。ポーランドの輸出総額の約1/6は自動車部門によるものであり、同部門からの輸出減少はポーランド経済に大きな影響を及ぼす。西欧市場の需要減速により、2012年のポーランドの輸出は、2011年の191億ユーロから178億ユーロに減少すると見込まれている。

ロストフスキ財務相が銀行同盟に関するポーランドの立場に言及【22日】

22日、ロストフスキ財務相は、「ポーランドはユーロが『銀行同盟』を創設することには反対しないが、ポーランドの利益に適うのであれば、そのような『銀行同盟』の姿が見えてから同盟への参加を検討する」と述べた。同相は、ブリュッセルにおけるユーロ圏財務大臣会合に先立ち、「我々は、ユーロ圏を強化するいかなるイニシアティブもポーランドの利益になると信じる。ユーロ圏の強化によって『銀行同盟』

が必要であり、ユーロ圏加盟国がその創設を決定するのであればポーランドはこれに反対することはしない」と述べた。他方、ポーランド自身がそのような『銀行同盟』に参加するか否かについて問われると、同相は、そのような質問に答えるには時期尚早であるとした上で、「出来上がった姿が見えてから決定するであろう」と述べ、そのような同盟が欧州でもっとも健全なポーランドの銀行システム及びポーランドにとって有利であるかによると説明。「銀行同盟」の創設は来る6月28日及び29日の欧州理事会における議題の一つになる。

欧州原子核研究機構の外部監査機関としてポーランド議会監査庁を認定【22日】

22日、外務省は、ポーランド議会監査庁(NIK)が、欧州原子核研究機構(CERN)の2013年の外部監査機関として認定されたと発表。20を超えるCERN加盟国が投票を行い、NIKは初めて外部監査機関のメンバーとなった。CERNは、ジュネーブに所在する、欧州の中でもっとも卓越したR&Dセンターであり、惑星の誕生や宇宙における生命の起源について研究している。研究施設には全周27kmの円形加速器・大型ハドロン衝突型加速器(LHC)が設置されていることで有名。

コジェニツェ火力発電所の入札結果不服申し立ての状況【24日】

日立パワー・ヨーロッパ社とポリメックス・モストタル社のコンソーシアムが落札したコジェニツェ火力発電所の入札結果について、競合していた中国国家電力エンジニアリング(CNEEC)/中国海外エンジニアリング・グループ(COVEC)が国立不服申立機関(KIO)に不服申し立てをしており、第一回目の会合が24日に開催された。なお、今回の入札では、CNEEC/COVECの提示価格が61.6億ズロチであった一方、日立パワー・ヨーロッパ社とポリメック

ス・モストスタル社のコンソーシアムの提示価格は62.8億ズロチであった。

ガスの卸売市場が2012年第4四半期に創設される予定【25日】

エネルギー規制局のヴォシュチュク長官は、ガスの卸売市場が2012年第4四半期に創設されると発言している。これは、産業部門向けガス自由化に向けた第一歩である。ポーランドの独占ガス供給会社のPGNiG社は、既に1億立方メートルを同市場で売却する予定であることを公言している。

日本板硝子グループがポーランドにサービス・センターを開設予定【25日】

日本板硝子グループの子会社であるPilkington Automotive社は、伊、英、独、ポーランドにある同グループ子会社の会計、財務、IT、調達等に係るサービス・センターを本年10月にサンドミエシュに開設する予定。雇用者数は60名の予定であるが、専門家は、サンドミエシュにおいて、外国語を話せる優秀な人材を探すことができるかが特に重要であると指摘している。

5月の失業率が12.6%に減少【26日】

26日、中央統計局(GUS)は、5月の失業率は4月の12.9%から12.6%に改善されたと発表。5月末の失業者数は2,013,900人で、就労者数は10,700,500人、就労者のうち68.6%は民間部門に従事している。2012年第1四半期の新規求人は159,700件でこの中の90.1%は民間部門。一方で、95,900か所の事業所が破産した。ただし、今回の失業率の低下は季節要因に基づく懐疑的な数値で、実際には失業率は昨年度同月比で0.2%上昇しており、労働市場は昨年より悪化しているとの指摘もある。

5月の小売販売が好調【26日】

26日、中央統計局(GUS)は、5月の小売販売が昨年同月比で7.7%(実質ベースは4.3%)上昇し、先月比で0.9%上昇したと発表。サッカー欧州選手権の効果で、家具、家電の販売は22.5%上昇し、6月も同効果が期待される。商社による販売売上も、

昨年同月比で4.6%(4月は1.0%)上昇し、先月比では4.5%上昇した。卸売会社の販売売上も昨年同月比で9.1%(4月は1.3%)上昇し、先月比で6.9%上昇した。

地方自治体の公共投資が削減される見込み【26日】

地方自治体の公共投資は、今後3年間で250億ズロチが削減される。財務省は、2010年の公共投資額は442億ズロチであったが、2015年には190億ズロチになると試算している。このような低い水準での公共投資は2005年以来となる。この試算どおりであれば、2010年より57%の減額となり、公共事業を受注する企業及び法人税の税収を見込む地方政府に悪影響が及ぶこととなる。

養鶏農家がEU指令に基づく新養鶏ケージを導入【26日】

26日、動物検査庁は、396の養鶏農家にEU指令に基づく新たな養鶏ケージが導入済みで、他の養鶏農家は7月末までに新たなケージを導入しなければならないと発表。今年の年初時点では、国内の約30%の養鶏農家がEU指令の基準を満たしていなかった。新たな基準は2012年1月1日より施行されている。欧州委員会は、ベルギー、キプロス、フランス、ギリシャ、スペイン、オランダ、ポルトガル、ハンガリー、イタリア、ポーランドに対して、EU規定が遵守されていないと指摘し、今後2か月以内に旧タイプのケージでの鶏卵生産を終了しなければ、欧州高等裁判所へ提訴する可能性も排除されないと述べている。この新基準による採卵鶏の減少は鶏卵生産量の低下を招き、欧州やポーランドの卵価格を押し上げている。

世界銀行が2012年GDP成長率を2.9%と予測【27日】

27日に発表された世界銀行の最新予測では、ポーランドのGDP成長率は、2012年が2.9%、2013年が3.2%とされた。これは、同行が昨年11月に予測した数値と同じ水準である。なお、同行は、今年1月に2012年の成長率が2.5%に低下するリスクを指摘していた。

社 会

サッカー欧州選手権中の観光客数が予想よりも低調【27日】

サッカー欧州選手権のグループリーグ期間中にポーランドを訪問した外国人観光客数は、39万3千人であった。また、準々決勝ではドイツから3万人、チェコ、ギリシャ、ポルトガルからそれぞれ数千人がポー

ランドを訪れた。当初、大会期間中には約80万人の外国人観光客が訪れることが予想されていたが、ファンが多いオランダ、スウェーデンがグループリーグで姿を消してしまったこと、外国プレスがポーランドは治安が悪く、また、ホテル宿泊費も高くなるだろうと報じたことがファンを遠ざけたと関係者は指摘して

いる。

大使館からのお知らせ

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項について

当館HP上に、「サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項」を掲載いたしました。詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120426.htm

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年9月30日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕「高畑早苗 WEAR ME 転変無常 2012 Krakow」展示会【6月12日(火)～7月15日(日)】

クラクフにて、「高畑早苗 WEAR ME 転変無常 2012 Krakow」展示会(「マンガ」日本美術技術博物館主催)が開催されております。高畑氏の作品は、世界の様々な文化からインスピレーションを受けた絵画のドレスシェーブ作品です。

問合せ先・開催場所:「マンガ」日本美術技術博物館(住所:ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話:12 267 37 53, Eメール: muzeum@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/wydarzenia/wearme>)

〔予定〕松井彬氏による能の講演及びデモンストレーション【7月2日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、松井彬氏による講演及びミニワークショップを開催します。松井彬氏は重要無形文化財保持者であり、能の普及のため世界各地において献身的に活動しています。参加ご希望の方は、事前にご連絡下さい。

問合せ先・開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話:22 584 73 00, Eメール: info-cul@emb-japan.pl, 住所:Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕七夕祭り【7月5日(木)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、七夕祭りが開催されます。茶道のデモンストレーション、浴衣の着付け、短冊の作成と飾り付けが予定されています。参加ご希望の方は、事前にご連絡ください。

問合せ先・開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話:22 584 73 00, Eメール: info-cul@emb-japan.pl, 住所:Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕鶴賀若狭掾氏による新内公演【7月6日(金)】

スタリ・ソチ市にて、第34回伝統音楽フェスティバル(7月2～8日開催)において、鶴賀若狭掾氏による新内公演が行われます。鶴賀若狭掾氏は重要無形文化財保持者であり、日本全国及び世界各国で新内の上演を行っています。

問合せ先:スタリ・ソチ市役所芸術文化センター(住所:Rynek 5, Stary Sacz, 電話番号:18 446 16 41, Eメール: ckis@stary.sacz.pl, ホームページ: <http://www.festiwal.stary.sacz.pl/>)

開催場所:スタリ・ソチ市聖キング広場(住所:Plac Św. Kingi, Stary Sacz)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsml@emb-japan.pl

(ご連絡は電子メールでお願いします。)